大学院理工学研究科RA研究発表会

Poster session, 'RA' Graduate School of Science and Engineering, CHUO UNIV.

^{日時} 2025年11月28日(金)

15:30~16:30	16:30~17:30	17:30~18:15
ポスター展示(自由見学 *15:30~ Coffee Time	ポスターセッション (発表者全員参加)	懇親会 * Light Meal
◇17:30 ご挨拶	◆理工学研究所長 プ ◆研究開発機構長 ご	大隅 久 友博
◇18:15 ご挨拶	◆理工学研究科委員長	上 庄司 裕子

発表方法 ポスター展示及びポスターセッションにより発表を行います。

参加無料。ご自由にお入りださい。

お問合せ先 中央大学研究支援室 rikoken-a-grp [at] g.chuo-u.ac.jp

専攻	RA氏名		『研究テーマ』	研究代表者
数 学	1	髙橋 優太	高次元射影多様体上の Ulrich 東に関する研究	渡邉 究
物理学 -	2	岡林 史憲	固有有効温度と秩序変数	中村
	3	須嵜 颯	ゲージ・重力対応とその応用	中村
都市人間環境学	4	榎本 容太	地盤と流体の複合現象のメカニズムの解明及び数値シミュレーションの高度化	有川 太郎
	5	加藤 宏季	数値移動床実験による石礫流の流動機構と現地観測への適用	樫山 和男
	6	白井 知輝	CCTV カメラを用いた遡上帯モニタリングに基づく津波検知手法の開発	有川 太郎
	7	川井 和奏	fNIRS 計測における新規皮膚血流ノイズ除去法の開発	檀 一平太
	8	德田 達彦	非地震性津波のメカニズムの解明及び津波予測の高度化に関する研究	有川 太郎
	9	福島 千乃	開水路三次元流れ構造と二次流の成因	手計 太一
	10	藤本 寛生	水理学及び水文学的アプローチによる流域治水技術の確立	手計 太一
	11	PRATIWI Cristin Harnita	Covert Eye-Tracking(CovET)法のブランドロゴフォーマット評価の適用	檀 一平太
	12	都築 航太	水理学及び水文学的アプローチによる流域治水技術の確立	手計 太一
	13	内藤 礼菜	Virtual Reality を用いた津波避難行動の解明に関する研究	有川 太郎
	14	宅和 佑悟	山地上流域における水・土砂収支に関する研究	樫山 和男
	15	Bienvenu KWIZERA	artience 株式会社が管理する静岡県富士市における浄化技術の検討	三苫 好治
精密工学	16	澤橋 龍之介	装着型力覚提示装置による VR 空間を用いた身体の空間的・時間的拡張における認知機能の解明	中村 太郎
	17	HUANG Zhitai	振動誘起局所渦を利用した均一な複合 DNA ゲル形成プラットフォーム	鈴木 宏明
	18	梶原 美紀	マイクロ・ナノ粒子の高速飛翔技術の開発と材料長寿命化に関する研究	米津 明生
	19	藤澤 隼矢	動物用人工血漿となるポリオキサゾリン結合ブタ血清アルブミンの安全性評価	小松 晃之
	20	馬鳥 沙希	ウイルス検出能を有する高分子チューブマイクロモーターの合成	小松 晃之
	21	古山 雄貴	高対称性原子価互変異性錯体の創成とその多重機能	張 浩徹
 ビジネスデータサイエンス -	22	江藤 大貴	潜在的な認知バイアスの可視化による気付きの提供と行動変容	加藤 俊一
	23	小島 太陽	ハラスメントの予防に向けた共感の評価方法	加藤 俊一
	24	ZHANG LIWEN	アバターのマルチモーダル特性が情報への安心・信頼性・緊急性の認識に与える要因の分析	加藤 俊一
電気•情報系	25	加藤 恩妃	ゼロショット学習を用いた、近赤外線画像の融合による靄除去	久保田 彰
	26	張桐	規範形状を持つ2次元物体のレーダ断面積に関する研究	久保田 彰
	27	小西 優一	高周波電磁波の円偏光近接場生成技術の開発とセンシング応用	河野 行雄
	28	村上 達哉	生体電気計測のための微小有機電極の研究	吉田 昭太郎
	29	大輪 健介	彩色相関クラスタリング問題に対する固定パラメータアルゴリズムの設計	福永拓郎

RA(リサーチ・アシスタント)制度

中央大学が主体的に行う共同研究プロジェクトの研究活動の補助業務を行い、研究活動の強化・充実を図り、 併せて大学院生の研究能力の向上に資するものです。理工学研究所・研究開発機構研究発表会と同時に開催 し、後楽園キャンパスでの研究成果を一同に会した発表の場となります。 お気軽に会場までお越しください。

